

## 『夢は実現する』

— 具体的な目標設定と、

誰にも負けない真面目な努力を!! —

高井法博会計事務所 所長  
TAC Tグループ関連12社 代表

税理士 高井法博

米大リーグ、マリナーズのイチロー選手が首位打者と盗塁王のダブルタイトルを獲得した。また、チームもリーグ優勝決定戦への進出を決め、球団初のワールドシリーズ出場へ向けて戦っている最中である。

シリーズ当初これだけの活躍を誰が予測しただろう。小さな体でパワー中心の大リーグ野球の中で、そのスピードとテクニクでリードオフマンとして、チームを引張った活躍は高く評価され、オールスターファン投票では一位を獲得した。まさに経済も政治も低迷する中で日本人に勇気と希望と元気を与えてくれた。そんなイチロー選手の小学校六年生の時の作文を入手したので紹介したい。

## 一、卒業文集『僕の夢』六年三組 鈴木一郎

ボクの夢は、一流のプロ野球選手になることです。そのためには、中学校や高校で全国大会へ出て活躍しなければいけません。活躍をするには、練習が必要です。ボクは三才

の時から練習をはじめています。三才から七才までは、半年くらいやっていましたが、三年生の時から今までは三六五日中午、三六〇日は激しい練習をやっています。だから一週間中、友達と遊べる時間は五・六時間の間です。そんなに練習をしているのだから、必ずプロ野球選手になれると思います。そして、中学校で活躍して、高校を卒業してからプロに入団するつもりです。そして、その球団は中日ドラゴンズか、西武ライオンズが夢です。ドラフト入団で契約金は一億円以上が目標です。ボクが自信があるのは、投手と打撃だけです。去年の夏、ボク達は全国大会へ行きました。そして、ほとんどの投手を見てきました。自分が大会ナンバーワン投手と確信ができるほどです。打撃では県大会、4試合のうち、ホームランを3本打ちました。そして、全体を通じた打率は、五割八分三厘でした。このように、自分でも納得のいく成績でした。そして、ボクたちは、一年間、負けし

らずで野球ができました。だから、この調子でこれからもがんばります。そして、ボクが一流の選手になって、試合に出れるようになったら、お世話になった人に招待券をくばって、応援してもらおうのが夢の一つです。ともかく、一番の夢はプロ野球選手になる事です。(原文のまま)

## 二、具体的な目標設定と強烈な願望を心に抱く。

まさに小学校六年生のときから、プロ野球の選手になると明確な目標を設定し、それに向かって必死な努力を続け目標を達成させてしまった。現在では日本だけでなく世界のNo.1を目指しこれを達成させてしまいうようなイチロー選手を見ると心から尊敬し脱帽する。職業柄数多くの経営者にお逢いする。その中で成功される経営者の要件の一つに、『明確な目標の設定』がある。これはまさに、精一杯勉強し材料を集め、脳みそがちぎれる位考えた上で、断固として決める。これを文書化する。この後が重要で、『どうしても、どんなことがあってもやり遂げなければならぬ。』と言う強烈な願望にまで昇華させ、まさに潜在意識にまで透徹するほどでなければいけない。こうなれば、新聞やテレビを見なくても、人の話を聞いても、夢や寝言にまで目標到達のヒントやひらめきが次々と出てき

て、突然飛び起きて枕元にあるペンでメモに書き留める。まさに寝ても覚めても四六時中そのことを考えている位の人が成功をしておられる。そして、奥様や家族等の協力なバックアップも必要となる。

## 三、真面目な、誰にも負けない努力をする。

少し位調子が良くても慢心したり、調子に乗ったりしてはいけません。思想面の勉強もしっかり行い、すぐ気付き方向転換をし正しい方向に歩み続けるソフトウェアを確立しなければならぬ。私は誰から何と言われようが、それが正しいと信じられるものであるならば、決して怯まず、弛まず、あきらめず、たとえ苦難に遭遇しても、真正面から、能力の範囲内で、真摯に取り組んできた。企業経営も、また人生も『純粋な願望』を抱き、ひたむきな努力を重ねれば、素晴らしい未来が開けてくることを、先人や素晴らしい経営者から、また自分自身の経験から確信している。

イチロー選手の活躍の陰には、まだ幼い三才から現在まで、その目標達成のために大変な努力があることを肝に銘じ、私も誰にも負けない努力を続け、お客様の要求に応えられよう、駄馬に鞭打ち今後も一生懸命働こうと思う。